

こんなビルは要らない！



(四谷通から見た竣工予想図)

本山の交差点から北に少し行ったところで、年内竣工予定の11階建共同住宅「(仮称) ビサイレント本山」ビル(本山町四丁目55番)は、2015年以来、4階建→10階建→4階建→10階(11階)建と何度も建築計画を変更してきた建物です。

さらにビルの外観について、2018年4月の住民説明会で、名古屋市の調整案を自ら説明していたにも拘らず、これを廃棄し、この7

月25日に新しい外観案を住民に示し、名古屋市とは調整済みとの説明をしています。

名古屋市景観室にヒアリングしたところ、この案については何回も調整した結果であり、景観を制限する権限の範囲ではやむなし、との判断です。

しかし、住民の側に立つと、上記のように建物の階数が何度も変わる中、**建築主からこれで進めます、と説明された外観(18年4月)が、説明なく突然に、以前に反対した最初の案(建築主が希望する白黒ストライプ)に近い案に戻され、名古屋市の調整案と伝えられても戸惑うばかりです。**

穏やかな景観を愛する本山地区の住民としては、この建築主と設計事務所

建築主：バックオフィス(有)代表取締役会長 川口進 千種区東山通1丁目36番地

設計者：(株)加藤設計 東区榑木町3丁目58番地

の社会常識を逸脱した行為ならびに景観を破壊する行為を強く糾弾するとともに、調整に当たった名古屋市景観室に対して強く抗議したいと思います。

賛同いただける方は、以下のメルアドの名古屋市景観室に対して、調整案が本山の景観・環境にそぐわない点、住民の意見を確認せずに出された点に、本山周辺住民として抗議の意思を表明して頂ければ幸いです。

名古屋市住宅都市局都市景観室長 松田和彦 k.matsuda.zz@city.nagoya.lg.jp

「本山の景観と環境を守る会」

代表：辻本 誠(名古屋大学名誉教授、最高裁判所建築関係訴訟委員会委員)

〒464-0033 千種区鹿子町3-8-401